

反帝愛國政府主義者「M」派の最後のおがきと粉碎也

共産主義者同盟西部地区委員会
共産主義青年同盟西部地区委員会
社会主義学生同盟明治大学支部
西部地区反帝戦線(闘)

京都の学友諸君! 去る22日里共團新入生歡迎集会における「M」派の挑々に対する下バ
ルトに端を発しに競争争は、昨年23日の「M」派による明大和泉駐へと展開された。し
かしこ々は昨夕、「M」派は口的に辯論し、不自由果と赤ヘルの手によって制圧し、4月28
に向けての國立民族同盟に意図せし我でもって推進していふことを宣言した。

我々と「M」派との競争争は直接的には開す里共團の發言権をめぐつて起つてゐた
のであり、そしてこれが赤ヘルとの間で、むろん庄介的仲長に対し、危機につつて「M」派の
最後の勝として、「M」派の手によつて暴力的解決へと事態が進ひらるにつづつた。

（ハ）日除町愛國軍の一翼としての國争

今回この「M」派との競争争は単なる發言权の問題にとどまるものではなく、競争の存亡
そのものとかけに關へと發展せんとする性格をもつてゐる。

（ハ）この日除町「M」派の淵源と分派軍事が、中日ス化革命に歸化した毛沢東や一
終エンコモドー、毛民想が過渡期世界における革命路線としては失格であり、混亂と
分裂を深めてくることのあらわれに他ならぬ。そして反帝・愛國・無政府主義者「M」
派がこれらに打する暴力的対決に追いつまぐらむのは、要因は我々、そハ日除町愛
國軍事と實はき「M」派の分離と促進しつゝある競争として存してゐるからに他ならぬ。
（ハ）「M」派は6月國争で解体せよ! 我々は4月26日抗争と争はる「M」派は6月國争と
ではなくまさしく日本共同声明にもとづく日本の侵略、反革命的具体的國の開始として
とりわけ半裸の反動と軸とした安保同盟の再編、帝日主義の侵略反革命戦争を世界革命戦
争へ転化すべき主體的条件を準備へし、その意味では70年代階級戦争の第一歩として恒常
時武装国争の責を負ふべくことが要求されてゐる。

（ハ）「M」派の最近の主張、半裸解放・革命政府樹立などといつた、民族主義的対応には
結局毛沢東の周刀革命論のアシハメであり、一曰主義的、民族共産主義的内戦に他ならず、
我々の日本南洋は主義同時打伏の國へとして、安保・半裸國争と位置づけ、人管法國事、
その他を中心として日除ーマジアの反帝統一戦線の形成、在日中国人、朝鮮人、東南アジア
ア諸国人とその他の他の共同の國争の展開を通じた日除主義の具体化に対し、破局せざるを
えねばないのである。

（ハ）日除町愛國軍事に勝利して年齋戦國、極東的共産國争の地平を切り開け!

（ハ）日除町愛國軍事の主力は、日除町愛國軍事として開始されたことと我々は明確にし、
完・軍・統一戦線の統力と並んで、愛國軍事に勝利するべくしては革命運動の前進は一
切ありえないのであり、我々は今、6月國争を以て、愛國軍事を翻してこころの党建設をめざ
したシリイ反帝として翻しておればならない。